



すこやかに  
とばっこげんき

おみらむい 絵

Vol.207

今年の節分は2月3日(土)です。鳥羽志摩地方では、節分を大みそかに行う地域もあります。また、地域によって豆をまくときのかけ声が違ったり、木にイワシを刺した「アラフサ」を玄関に飾ったりするところもあります。さまざまなお節分で新年の無病息災を願ってみませんか。



木下 凛音 ちゃん

令和5年1月11日生まれ (菅島町)

1歳おめでとう♡ねえね、にいと仲良しでとっても。

KIDS PHOTOGRAPH  
やんちゃっこ  
あまえっこ

満1歳になる元気なお子さんの写真(デジカメ画像可)に25文字以内のコメントを添えて、広報情報係へお送りください。メールでも受け付けています。

☒ koho@city.toba.lg.jp



吉水 汰良 くん

令和5年1月3日生まれ (屋内町)

1歳のお誕生日おめでとう★  
元気いっぱいそだってね!



木下 かいり 魁湊 くん

令和4年12月26日生まれ (菅島町)

おねえちゃんおにいちゃん大好きな未っ子! みんなに可愛がってもらってこれからも元気にすくすく大きくなってね~♡

あなたにとって仕事を目的とは何ですか?  
「Travailier pour vivre ou vivre pour travailler (トライフアイェ・プル・ヴィーヴル・ヴィーヴル・プル・ヴィーヴル)」働くために生きるのか、生きるために働くのか?」とフランス人に質問したら、私を含めて、迷うことなく「生きるために働く! 働くために生きるのではありません!」と答えるはずですよ。  
フランス人は働くことを大切にしていますが、長期休暇や昼間に「コーヒー」を飲むことも、長い昼休みを取ることも大切にしています。例えば、働いている企業にもよりますが、フランス人は2時間の昼休みを取ることもあります。それは、休憩を挟むと、仕事の効率性が向上し、家族と過ごす時間を長く確保することができるからです。

日本はどうでしょう。勤務時間の延長や、休日も出勤するなど、休暇や休み時間を十分に取らない傾向があります。エクスぺディアのレポート【世界】2022年の世界16地域における有給休暇の取得状況比較によると、日本では、20日の有給休暇のうち、平均して12日(60%)が実際に利用されています。一方、フランスでは28日の有給休暇のうち、平均して20日(71%)が利用されています。  
私にとって働くということ、単に職務を全うして給料を得ることや、社会的な常識に合わせるためではなく、自分の人生を意味あるものとするためでもあります。自分自身が成長するためだけに働くのであれば、どのようなアプローチも正解不正解はありません。成長するためには、お客さんからの感謝の言葉や、同僚と切磋琢磨し技術や技能を向上させることが大切です。そして、だれしも成長するためには、良い労働条件や職場環境が必要です。それはどの国でも同じかもしれません。

国際交流員カツ・ポリンがみつけた  
Fantastique  
TOBA 観光商工課 ☎(25) 1-157

Vol.7

